

# なみきり

茨城県石岡市東成井16-17の5  
電話〇二九九一五六一六二三七

第8号 (春号) 1日  
平成28年4月号  
発行 波切不動寺

<http://www.iwamanamikiri.net>

## 寺会報誌【なみきり】再開(復載)

昨年度は地鎮祭・上棟式からはじまり、鎮座式に落慶法要と

寺の一大行事が続いたことで、年2回発行を目標にしていた寺の会報誌

【なみきり】を、長いことお休みしておりました。

私自身、若くはないと認識はしていたものの、その疲労感はかなりきついのがありました。ご無沙汰していた【なみきり】にようやく取りかかる時間ができ、平成28年度春号をお届けする運びとなりました。今後とも、ご愛読のほどよろしくお願いたします。

### 聖翠の悲願

お不動さまを大久保の屋敷の外にお連れすることができました

当山の本尊である『波切不動明王さま』は、たくさんのご利益をくださり、大きなお力をおもちです。『お不動さまを、一個人の屋敷にお祀りしては申し訳ない。もっと目立つところに、もっと多くの方にお参りしていただくよう、別の場所に移してさしあげなければ、罰が当たる』と思っておりましたが、私の思いが信者の皆さまのおかげで、やっと叶えることができました。たくさんのお布施(奉納金・お手伝い・心寄せ・笑顔)をありがとうございます。



### 季節の移ろい(エネルギー)を感じられる場所

北風の寒い季節から暖かい芽吹ききの季節やってきて、小さな草花たちがうれしそうです。河津桜が咲き始めました。少しすると本格的な春、しだれ桜・辛夷

(こぶし)・モクレンと大好きな花々が咲き誇るでしょう。待ち遠しいですね。季節が変わって初夏、新緑の季節、庭中に植えられた大樹がグリーンを傘を広げます。長く暑い夏がくれば、涼しい木陰でひと休み。季節の移り変わりがわからなくなりつつある昨今ですが、秋がゆつくりと訪れるでしょう。木の葉が散って焼き芋を焼いて、心もおなかもホカホカ。まるで軽井沢のような雰囲気、素晴らしい庭も、ほぼ完成に近づいています。

### 心穏やかに癒やされる パワースポット 波切不動寺

聖翠の心に描いていたお寺の姿です。このような素敵なお寺を作ることができたのも、信者の方々のおかげです。心から「ありがとう」と感謝しております。皆さまどうぞ遊びにいらしてください。

さて、こんな素敵なお寺で、何を  
はじめましょうか？

お花見ですか、お酒を飲みますか、歌いますか……ここは寺だぞ、と仏さまから叱られる？ お不動さま、たまにはいいじゃないですか、はめはずして。季節、季節で楽しいイベントを企画しましょう。

苦しいことも、悲しいことも、悔しいことも、すべてを乗り越えられる、強くたくましく、そして優しく穏やかで豊

### 平成28年度 波切不動寺【星祭り】

密教では、この世のすべてのものは大日如来が姿を変えたもの、と考えます。お不動さまも、観音さまも、山も川も草も木も。そして星も含め、ありとあらゆるものが大日如来なのです。私たちも、大日如来のお力によって生かされているのです。そのことに心から深く感謝すると同時に、新たに迎える年(春)が本当に素晴らしいものとなるよう、祈願いたします。

かな心をもち、健康で、毎日の仕事に、子育てに、日々の生活に、一生懸命取り組む信者さんを育ててくれるよう、私も精進し、修行いたします。このように寺は大きく変わりました。そして新しいお寺が狭く感じるほど、新しい信者さんが日々訪れ、増え続けています。





### 今後の寺の役割について

波切不動寺は、真言密教の寺ですから、弘法大師さまの教えを基盤に、

【波切不動寺】＝宇宙エネルギーの満ち溢れている場所の建設

を目指します。

- ・宇宙のエネルギーを受け取れる場所（曼荼羅の中の仏さまの集まる場所）
- ・なりたい自分になるための感性、感覚を養う場所



## 【真言密教】とは どんな教え？

信者さまに勉強してもらいたいことを、これから申しあげます。

密教とは「弘法大師作の歌」

阿字の子が 阿字のふるさと

立ちいでて また立ち帰る

阿字のふるさと

弘法大師作「梵音」と題する真言のご詠歌ですが「阿字」とは、大日如来のシンボルとされている文字です。

阿字の子、つまり、大日如来（＝宇宙）から生命を授かり、人間としてのこの世に生まれた私達が、行を積み、祈りを重ねることに、より、私たちにもともと備わっている仏性に目覚め、本来の姿である仏



に戻る、という意味です。真言密教で一番大事なのは「即身成仏」なのですが、その「即身成仏」の心をわかりやすく表現している歌です。

即身成仏とは、人間が人間の身体のままに仏になること。密教のあらゆる行の最終目的はこの「即身成仏」にあるといわれています。この点が、密教と顕教（密教以外の宗教）のまったく違うところ。

顕教では、三大阿僧祇劫（数え切れないぐらいにとっても長い時間）という長い時間をかけて何度も生まれ変わりに変わりながら、やっとなんかの功徳を積んで、やっとなんかになることができます。

密教はそうではなく、正しい手続きさえ踏めば、誰でも人間の身体のままに仏になれるという教えです。「密教」とは「秘密宗教」「秘密の教え」ということ。では秘密とは何か、何を秘密というのか。秘密というと、どこかうさん臭いと誤解されそうですが、弘法大師が記すところによると密教の教えは法身（永遠不滅の真理で絶えず宇宙に遍満しているという意味）である大日如来の説かれたものゆえに、その奥は深く、人間の智慧ではなかなか理解できない。

これに対し顕教の教えは応化身（衆生救済のために仏が生身の人間となつてこの世に現れること）で、お釈迦さまの説かれたものです。本物の仏である大日如来の教えに比べると底が浅い。したがって大日如来の説かれた密教は秘密なのです。

秘密にはふたつの意味があり、ひとつ

を「衆生秘密」といいます。

衆生つまり私たち人間は、本来仏であるのに、そのことに気づかず、自分で自分の本性を隠してしまっている。自分で秘密にしてしまっていることから「衆生自秘」ともいいます。

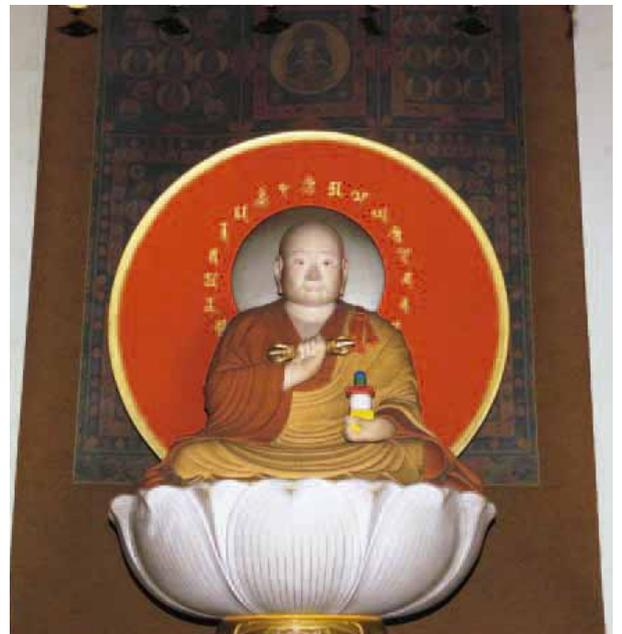
もうひとつの「如来秘密」は、理解できるレベルに達していない者に教えずに、かえってその者に害を与えてしまうため、意図的に隠している秘密のこと。お釈迦さまは法を教える相手の器、機根に応じて、説法（対機説法、応機説法）をしていらつしゃつたのです。

大日如来は、仏の世界の真実語でしか話さないため、その内容は、普通の人間には理解することができません。すなわち秘密なのです。仏とは宇宙のこと。その意味から考えると仏の言葉とは、宇宙の真実の姿、私たちの生命の根本です。それがなぜ秘密なのかといえば、私たちの愚かさのために、隠されていて、わからないのです。

顕教の教えは煩惱の塵をぬぐって悟りを開かせますが、それ以上の追求はありません。

密教の教えは悟りを開かせたうえ、庫を開いて、私たちに宇宙の本当の姿を見せてくれます。

密教とは端的にいうと《即身成仏して宇宙の真理を知る宗教》なのです。



密教のさまざまな教相も事相も、結局はこの即身成仏に集約されています。即身成仏するために、さまざまな行法があり、経論も存在します。



### 密教は「折り」の宗教

弘法大師の『即身成仏義』の中に次のような一説があります。

六大無碍にして常に瑜伽なり  
四種曼荼 各 離れず  
三密加持して速疾に 顕わる  
重重帝網なるを即身と名づく

大師は「神秘体験」を通して密教の神髄をつかんだのでしよう。

密教はいくら学問を積み、教論を学んでも（大切だけれど）、無心に折り、一心に行をして自分で神秘体験をしてみないと、本質はわからないのです。

**真言行者は三密加持、手に印契を結び（身密）、口に真言を唱え（語密）、心に本尊を念じて（意密）祈ると宇宙に遍満する力（宇宙そのものもつエネルギー）が表面へあらわれ、その力で願い事が成就するといえます。**

密教では、宇宙に存在するあらゆる物体は、体・相・用の3つの面から成り立つと考えられています。

「体」というのは物体そのもの、百合の花であれば、百合そのものを指します。これを「体大」。

「相」というのは物の姿・形。百合の花の色や形、大きさが「相大」です。

「用」とは、物体のそれぞれが持っている働きと作用のこと。百合の花は蕾が開き、花が咲き、香りを出す働きをします。これを「用大」といいます。

百合の花にたとえましたが、密教では、宇宙に存在する全物質には必ず体・相・用の3つの面があり、宇宙自体も3つの面から成り立つとしています。これが密教的宇宙観です。

話を少し戻し、先に紹介した『即身成仏義』の四行は、宇宙のあり方を示しているのです。

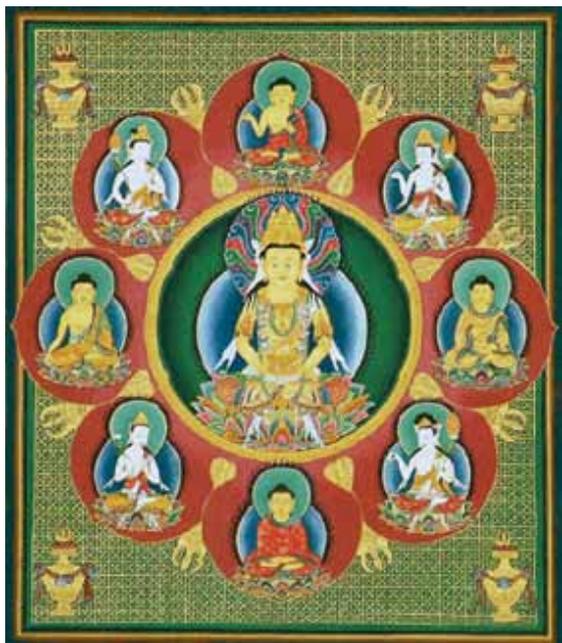
**「体」について**

密教では宇宙は6つの構成要素から成り立つものとし、これを「六大体大」とよびます。「六大」というのは、「地・水・火・風・空・識」の6つの存在要素。そのうち「地・水・火・風・空」の5つを、物質的存在をあらわす五大と

いいます。誤解のないようにいいますが、地大といっても、土地そのものを指すのではなく、「地」すなわち固いもの「固」、水すなわち流れ下降するもの「液体」、「火」すなわち燃え上がり上昇するもの、

「風」すなわち動くもの「気体」、「空」すなわちあらゆる空間、という意味です。この「地・水・火・風・空」の五大に、精神的存在である「識」（認識作用）が加わって「六大」となるのです。

宇宙は物質だけで成り立つのではなく、そこに私たちの認識作用が加わって、初めて作用している。したがって大師は識のことを「智」とも「覚」とも「心」とも説いています。つまり精神活動を示しているのです。宇宙の「六大」



四種曼荼羅（京都・東寺所蔵）

仏のさとり境地、世界観などを仏像、シンボル、文字、神々などを用いて視覚的・象徴的に表した曼荼羅は、インドの言葉で曼荼羅=真髓・本質、羅=得る、とわけて考えると理解しやすいのではないのでしょうか。

- 大曼荼羅：仏さまの絵姿を描いたもの
- 三昧耶曼荼羅：仏さまを表すシンボルを描いたもの
- 法曼荼羅：仏さまを表す字で描いたもの
- 羯磨曼荼羅：仏さまの動きを描いたもの

合掌

**次に「相」の面について**

それぞれバラバラに存在しているわけではなく、六つの要素がお互いに触れ合って、交じりながら個々の存在を確固なものにしています。これを「六大無碍」といい、即身成仏するには、まずこういった宇宙の実体を認識することが大切なのです。

宇宙には4つの面があり、密教はそれを4つのマンダラで表しています。「四曼」（しまん・四種曼荼羅）とは4種のマンダラのことです。マンダラとは、大日如来を中心に諸仏諸尊を配置した図で、宇宙の姿を表現しているのです。

少し真言密教についてお勉強をしていただきました。この続きは次回の「なみきり」にゆずります。お楽しみにお待ちください。

**御嶽山新滝にて、滝行とお籠もり行**

ご存じの方も多いと思いますが、法忍副住職は平成19年7月〜23年3月までの4年の間、毎月18日から27日まで10日間を新滝洞窟に籠もり、修行をしていました。冬の洞窟内は零下20度という厳しさで、滝は40メートルの高さから落下します。この滝に打たれ、岩屋に籠もり、お不動さまと弁財天さまを拜むこと4時間、1日3回繰り返します。この修行を6年ぶりに復活いたします。なぜ6年間続行できなかったのか？その理由は後述をお読みください。

**滝行とお籠もり修行をして得た不思議体験**

①川崎市にお住まいの方が、遺産相続税のことで相談に来られたときのことです。数十億単位の相談をもちかけられ、お不動さまにお願いするしかないと考えました。

法忍さんは御嶽山新滝で、滝行とお籠もりの拜みに入り、聖翠は自房で毎日護摩祈祷をしました。その結果、一週間後に19億円で売却するはずの土地が、24億円で売却できることになり、困りが解決したのです。お礼に数千万円をご寄進いただいたおかげで、現在の土地の頭金を作ることができました。

寺の敷地約3千坪の購入資金にあてたこの数千万円は、間違いなくお不動さまが授けてくださったのです。夢中で拜むと不思議なことが起きるものですね。

受かるはずのない大学に合格し、  
そして大学院に入った！

②平成23年2月20日、弁財天さまを拝み始めると、どこからともなく女の人の声で「法忍よ、大学に行って学べ。法忍よ、大学に行って学べ」と声が聞こえてきたのです。

「今の声は？ 本当に仏さまの声なら大  
学に合格するのかも？」

受験できる大学を探すものの、2月の末ではどこも願書を締め切っています。すると大正大学仏教学部が23日締め切りではありませんか。走り回って書類をそろえ、ギリギリの「23日消印」で提出。3月3日が試験です。国語は「まあまあできた」、英語「全然わからないので全部2に○をつけた」と、当時の法忍さん。残りは社会で、世界史ダメ、日本史ダメ。現代社会の試験は、たまたま試験の前日に読んだ新聞の記事（リーマンショックのこと）が、そのまま出題範囲だったのです。「やったー全部わかった」とは法忍さんの言葉。この成り行きがとても不思議です。勉強もせず合格。入学すると無我夢中で勉強「高い授業料払って寝ているのはもったいない」と法忍さん。高校生のときは授業料にも学問にも関心なかった法忍さんでしたが、大学の4年間は取り憑かれたように勉強しました。その後、筑波大学宗教学科に合格し、現在は大学院の2年生です。法忍さんは、高校に4年在籍し、成績はオール2。どう考えても大学、ましてや筑波大学の大学院なんて夢のまた夢だったのに。弁財天さまのお力の不思議を見せつけられたのです。

## 祈りがもたらす 神秘体験

護摩の火を受け一心に拝むとき「三密加持」をするようにしましょう。とくに病気の方は心がけてください。お不動さまは必ずよい方向に促してくださいます。一生懸命おすがりすると、驚くような不思議なお力をくださいます。

にわかには信じがたいと思われるかもしれませんが、実際に起こった事例として、ここにほんの一部をご紹介します。

### 膵臓癌が陽性腫瘍に変化？

働き盛りのYさんが、「疲れる疲れ」と、相談にやってきました。みるみる痩せて顔色も土気色です。大きな病院で診察すると、膵臓癌との診断。熱心な信者さんですから、なんとか助けてやらなければと、副住職の法忍先生が焼八千枚護摩のときに着ていた白い衣と袈裟を、Yさんの体に巻いて入院まで寝かせました。さらに焼八千枚護摩の壇上で使ったレンガを枕に、焼八千枚護摩の「御炭」を水に入れて飲ませ、三密加持（手に印・心にお不動さまを念じ・イメージ・不動真言を唱える）を夢中で行いました。

入院が決まり、数日後手術をするると膵臓癌は陽性腫瘍に変化していたのです。病院の診断では「膵臓癌」でしたが、実際に開腹をしてみたら陽性腫瘍とのこと。お不動さまのお力の偉大さを見せつけられました。

## 難病の「パーキンソン病」でも 元気に仕事をしています

本寺の行者さんの1人が波切不動寺に相談に来たのは数年前のことでした。当時、パーキンソン病で苦しんでいたその人は、全身が震えて頭が下がるという症状を抱え、午前中だけなんとか仕事をし、午後は孫と昼寝をしていました。

住職の言葉に従い、月3回お護摩の火を受けにお寺へ通うことに。そしてお稲成さま、荒神さま、弁財天さま、大黒天さまを熱心に拝むようになると、一ヶ月後に投薬が一種類減ったそうです。この病気は月日が経つにつれ症状が重くなり、最後は寝たきりになる病気で、薬が減るなんていうことは、考えられません。それが今では体が楽になり、

一日中働けるようになりました。商売も繁盛しています。お不動さまのご利益のすごさに、家族一同感謝をしています。

商売を「繁盛」させたい方は、お護摩の火を受け、一生懸命（一心に）拝むときに「三密加持」をしましょう。お不動さまは必ず繁盛させてくださいます。

そして「商売繁盛」を実現するための良い縁を、波切不動明王さまは結んでくれます。



## 短期間で商売が繁盛し、 「売上日本一」を2年連続獲得の 快拳を成し遂げた女性

この方は、ある商品の売上高日本一、それも2年連続で達成しました。一方で一緒に仕事をする女性の「なりたい自分になる」夢の実現を目指し、どんどんグループを大きくし、働けば生活に活気が出て楽しくなることを教えています。この方のすごいところは「商売繁盛したければお不動さまに手を合わせなさい」といい切るところです。「自分が成功したのは、お不動さまのおかげだから」と後に続く女性に教え、育成を担っているのです。

この方は揺るがない信仰心を持っているので、お不動さまがお守りしてくださっています。彼女の夢は「なりたい自分になる」女性作りと「お寺の本堂建立」なのだそうです。

お不動さまは自分のことだけでなく、周りの人も良くしてあげたい、と思う人が好きです。お不動さまの好きな人間になれるよう、お互い努力をしましょう。

## 言霊(ことだま)という 言葉を知っていますか？

言葉にも霊が籠もります。ですから良いことを言葉に出すと、良いことが起こります。悪いことをいうと悪いことが起こります。他人のことを恨んだり、悪口をいったりすると、全部自分のところに返ってきますから要注意です。

この「言霊」の作用を利用して、毎晩寝る前に布団に入ったら5分間、自分の希望することや「なりたい自分」を心に思い描き(映像化して)、自分に語りかけましょう。

## このように拝み方を教え、 寺の僧侶も修行に精進した結果

とうてい入れそうもない大学(医学部)に合格し、卒業を迎え、今年めでたく医師国家試験に合格したり、良い結婚相手が見つかったり、子宝に恵まれたり、高校の先生で部活の勝利を願った結果、関東大会出場を決めたり、嫌な友達と縁が切れたりなど……。

【波切不動明王】は各方面で、いろいろなお願い事を叶えてくださっています。【波切不動明王】はすごいお力のある仏さまです。皆さんも具体的にお願いをみましょう。

他のお寺にもお不動さまはいらっしゃいます。よく「自宅の近くの〇〇寺のお不動さまと同じお不動さまですか?」△△寺のお不動さまにお願いしても願いは叶いますか?という質問をうけます。そのときわたしは「お不動さまのエネルギーは同じですが、お寺のご住職がお不動さまをどう拝んでいるかです。拝まれていないお不動さまにはお力はありません」と答えています。とにかく「拜んで・拜んで・拜んで」お力を引き出し、どんな願い事も叶えてもらう。繰り返してお不動さまのお力がなくならないように、不動護摩を修

し、再び「拜んで・拜んで・拜んで」の繰り返しなのです。それだからこそ、他のお寺のお不動さまと、波切不動寺の不動明王さまのお力は違うのです。

よく他の寺のお坊さん方に「波切不動寺は、月三回護摩修行をして、そのほかに大護摩を焚いて、天部を拜んで、亡者を供養して大変だね。信者さんがとても熱心で、あんなにたくさん来てくれる。すごいね」といわれます。「皆さんの悩みや願い事をよく聞き届けてくださる不動明王さまですからね」と私は答えています。どうぞ寺と一緒に大きくなりましょう。お友達や親戚の方などたくさんお誘いください。皆さんを幸せにしてあげましょう。

## 皆さんは神秘体験を したことがありますか?

多くの人は自分が気づかないだけで神秘体験を、大なり小なりしているのです。

【波切不動寺】に来る前と【波切不動寺】に来てからの変化を比較してみてください。

## お稲荷さまの霊示

一ヶ月ほど前から、毎日お稲荷さまにお参りに行くと、誰かが話かけているような気がします。その時はお稲荷さまの霊示がわかりませんでした。以前から「伏見稲荷みたいに千本鳥居を作りたい」と信者の方々がいていた

ので、お稲荷さまは鳥居が欲しいのかと思つて準備をしていたら、やっとお稲荷さまの霊示がよめました。どうやら鳥居ではなく、大囲家(おおいや)で社を荘厳して欲しかったようです。

霊示が理解でき、大工さんに見積もりをお願いしようと思ひ、電話をしました。大工さんは驚いて、

「偶然であるもんだなあ、今朝夢で、大囲家作ってくれと、御稲荷さん頼まれたんだよ。そしたら先生から電話だもんなあ」といのです。

偶然でも夢でも何でもなく、お稲荷さまは大工さんにも霊示をしたのです。

大囲家(おおいや)の荘厳のことがわかった頃、あるお医者さまの奥さまが「お稲荷さまが大囲家を荘厳して欲しいと、何度も出てきて話されます。





作ってあげてください。言い出しつぺなので、私も浄財しますから」と、たくさんのご寄進を置いて帰られました。不思議なことが3回も続きました。

このような経緯から寺の役員会で話し合い、全員一致で【お稲荷さまの大囲家】を荘厳して差し上げることを決め、建築に着手することになりました。

お不動さまから指示を受けて、健康・商売繁盛・家運繁栄のお役目を司っているお稲荷さまですから、大囲家を荘厳して差し上げたらご利益も倍増することでしょう。

### 大囲家荘厳に、信者の皆さま方からのご寄進を お願い申しあげます

功徳主・個人  
二口二万円以上で何口でも結構です。  
功徳主・法人  
一口五万円以上で何口でも結構です。

◎法人でも、個人でも、お申し出のある方には、領収書を発行いたします。

◎功徳主のご芳名、貴社のご芳名を大囲家内に記し、その浄心を永代荘厳いたします。

御寄進の受付期間は3月より5月末まで。郵送・振り込みでも受け付けます。

筑波銀行 笠間支店 1115  
口座番号 1037606  
非法人 三白山岩間波切不動寺  
住職 大久保道子

\*大囲家とはお社の上に大きな屋根を被せ、周りを囲う建物です。

### 滝行とお籠もり行 —— 目的は本堂建立祈願のため 祈らないごことは、叶わない

現在のお堂は護摩堂です。本尊さまのお堂がないのはくやしいと、法忍副住職が発願、一念発起しました。熱意ある信者さん【繁盛したいと熱望している信者さん】を一心に拜んで、波切不動寺の大檀那になってもらおうという根拠です。毎月5日間籠もります。

商売繁盛をしたいと熱望している信者さんからの【ご依頼】をお待ちしております。  
\*お申し込みは直接法忍副住職までお願いします。

### 大般若転読を再開します

落慶法要以降、お休みをしていた大般若転読を再開します。お稲荷さまの威光倍増のために、また信者さまの健康・商売繁盛・家運隆昌などのために【毎月一の午】に転読を行います。ぜひ、ご参座ください。

### 柴燈護摩の復活

一昨年まで毎年行っていた柴燈護摩を奉納したいと考えております。このままでは、お願い事が多くてお不動さまのお力が削がれてしまいます。しかしご近所の皆さまに配慮して実行に踏み切れません。

大護摩といえは柴燈護摩と焼八千枚

護摩ですが、柴燈護摩ができないとなれば、焼八千枚護摩しかありません。そこで焼八千枚護摩を6月第2日曜日に厳修したいと思えます。暑さとの戦いで法忍副住職も大変ですが、頑張って拝むそうです。

◎護摩木の奉納をお願いします。

波切不動寺では、毎朝護摩を焚き、学業の為、休眠していた行を復活させます。  
よろしく願いいたします。  
法忍

- ・定例月護摩 (第2日曜護摩、17日十一面さま護摩、28日不動さま護摩)
- ・荒神さま (月一回、最良日の20時30分より)
- ・災難除け、悪難除け (お稲荷さま (月初めの午の日、次の午の日、月2回 19時から) 健康、商売繁盛、五穀豊穣 弁財天さま (17日十一面観音護摩の後) 商売繁盛、技芸向上、学業成就 弁がたつ 大黒さま (甲子の日ふた月に一度0時から) いただいたご利益を御蔵に貯蔵する

### 編集後記

当寺は従来の寺のイメージにとらわれることなく、信者の方々にとくさんご利益をいただいてもらえる寺にしたいと、常々考えております。  
西行法師の

【なにごとのおわしますをば知らねどもかたじけなきに涙こぼるる】  
どなたさまがいらつしやるのか、よくはわかりませんが、おそれ多くてありがたくて、ただただ涙があふれ出て止まりません

という和歌があります。そんなお寺になるよう、朝に護摩を焚き、勤行をし、仏さまにお仕えし、今日より明日、明日より明後日と、日々成長できるように精進します。

・護摩の火にあたる。  
・信じて心をお不動さまにあずける。  
・静かに手を合わせる。  
そうしたら、お不動さまがあなたを変えてくださいます。波切不動明王は人の心を変えるのが、とても得意な仏さまです。

信者さまのますますのご発展をお祈りいたします。  
合掌

- 平成28年4月以降  
波切不動寺の行事予定
- 4月～御嶽山新滝にて(滝修行) 滝の洞窟にて (不動明王三密加持)
  - 4月～毎月第一午の日大般若経転読
  - 6月12日 焼八千枚護摩供養 波切不動明王像法案のため
  - 7月19日 夏越大祓いキュウリ加持
  - 8月13日～21日 孟蘭盆会施餓鬼供養
  - 8月20日～21日 山形月山・湯殿山奥駆け修行 先着50名
  - 9月22日 秋彼岸供養
  - 12月11日 年越の大祓い 焼八千枚護摩供養
  - 12月24日～25日 高野山参拝 立里荒神 弘法大師さまお礼参り 先着50名
  - 12月29日 年越し大掃除

※行事の日時は、寺の掲示板または寺のホームページでご確認ください。